

平成 25・26 年度 土木学会複合構造委員会 第 12 回幹事会議事録

日 時：平成 27 年 3 月 7 日(土) 9:00～12:00

場 所：別府ホテル清風 会議室

出席者：島委員長，奥井副委員長，池田幹事長，大久保幹事，大山幹事，斉藤幹事，滝本幹事，
西崎幹事，広瀬幹事，古市幹事，牧幹事，溝江幹事，久米村事務局

(敬称略，計 13 名)

配布資料：

- 資料 幹12-0 第12回 複合構造委員会幹事会議事次第
- 資料 幹12-1 第11回 複合構造委員会幹事会議事録(案)
- 資料 幹12-2 第4回 複合構造委員会議事録(案)
- 資料 幹12-3 平成26年度 予算執行状況
- 資料 幹12-4 土木学会論文集A1特集号：複合構造
- 資料 幹12-5 「第11回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」準備状況
- 資料 幹12-6 平成27年度 重点研究課題申請書(構造工学委員会)
- 資料 幹12-7 平成27年度 研究討論会案＜欠番＞
- 資料 幹12-8 出版関係
- 資料 幹12-9-1 小委員会一覧
- 資料 幹12-9-2 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 資料 幹12-9-3 H181 鋼コンクリート合成床版設計・施工指針作成小委員会
- 資料 幹12-10 部外からの問い合わせ対応
- 資料 幹12-11 (国際センター) 情報グループ担当委員会議 事前アンケート
- 資料 幹12-12 H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会
公募会告(案)

議事内容：

0. 委員長挨拶

島委員長より，開会の挨拶がなされた。

1. 第11回 幹事会議事録(案)の確認 (資料 幹12-1)

大久保幹事より，第11回 幹事会議事録(案)について説明がなされ，以下の点を修正後，承認された。修正内容は，以下のとおりである。

8. 小委員会報告審議事項

(4) H213 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会 (資料 幹11-8-5)

- ・ ～そのうち1日は，JR東大阪線 → ～そのうち1日は，JRおおさか東線
- ・ 長寿命化の評価が重要～ → 既設構造物の評価が重要～

また，奥井副委員長より，国際会議「IABSE-JSCE joint conference on Advances in bridge engineering-III」の旅費，参加費などを学会に申請した結果，条件付きで50万円の予算が認められる旨の報告がなされた。

2. 第4回 複合構造委員会議事録(案)の内容確認 (資料 幹12-2)

池田幹事長より、第4回 複合構造委員会議事録(案)について説明がなされ、以下の点を修正することになった(この議事録(案)は、平成27・28年度 第1回複合構造委員会において承認を得ることになる)。

- ・ (21) 終了小委員会の活動成果報告
(H212) 複合構造ずれ止めの～ → (H206) 複合構造ずれ止めの～
- ・ 改定 → 改訂
- ・ 紹介 → 照会
- ・ 中島委員 → 中島小委員会委員長
- ・ 池田 → 池田幹事長

3. 予算執行状況 (資料 幹12-3)

池田幹事長より、平成26年度の委員会予算執行状況について報告がなされた。

なお、今後の予算執行状況によっては、第12回幹事会の旅費支給について、一部、要望に対応するのが難しいとのことである。

4. 論文集特集号 (資料 幹12-4)

牧幹事より、2015年5月発刊予定の土木学会論文集特集号に掲載予定の招待論文、小委員会報告ならびに一般論文の執筆や査読状況について報告がなされた。

さらに、次期小委員会(決定は、次年度)の体制(案)について説明がなされた。

5. 第11回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム (資料 幹12-5)

溝江幹事より、「第11回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」の準備状況として、土木学会誌3月号に、講演原稿募集の会告が掲載されたことなどについて報告がなされた。

今回のシンポジウム小委員会(2015年3月26日(木)開催)において、現場見学会(候補：JR新橋駅、外環道(千葉県市川市))やパネルディスカッションの内容(案：SRCおよびCFTの現状と最近の研究事例、土木と建築よりそれぞれ1件、計4件。時間は2時間を予定)について、意見交換を行う予定である。

6. 平成27年度「重点研究課題(研究助成金)」について (資料 幹12-6)

池田幹事長より、構造工学委員会より提案があった重点研究課題に対して、コンクリート委員会、鋼構造委員会ならびに複合構造委員会による研究体制で申請した旨の報告がなされた。

なお、当初の研究課題名は、複合構造委員会からの意見を勘案して頂き、『橋梁の合理的な点検方法と地域における点検・診断力向上システムの実装化』に変更された旨の説明がなされた。

7. 研究討論会

池田幹事長より、[改訂版]複合構造標準示方書の内容紹介と発刊される示方書と何らかに関連するテーマで、土木学会全国大会／研究討論会が実施できないかとの提案がなされた。

意見交換の後、研究討論会は、維持管理について、点検が主目的ではなく、この点検結果をどのように評価・判断するのか、また、今後、この評価や判断できる技術者をどのように育成するのかについて議論する方向性でまとまった。

なお、3月13日(金)までに企画書を学会に提出する必要がある、斉藤幹事がその案を作成することになった。

8. 出版関係 (資料 幹12-8)

大久保幹事より、2015年1月末時点における書籍の販売状況について報告がなされた。

ここで、前回の幹事会から議論となっている「複合構造シリーズ05 基礎からわかる複合構造一設計と理論」は、原価回収を行うためには300部増刷を行う必要があるため、結果、増刷を見送り、早期に改訂小委員会を設立し、2～3年後を目途に出版することになった。

一方、複合構造レポート07～12は、原価回収に向けて、販売促進活動を行って欲しいとのことである。

9. 各小委員会 活動報告 (資料 幹12-9-1)

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会 (資料 幹12-9-2)

斉藤連絡幹事より、①原稿を出版委員会に提出し、書籍価格が決まった。②東京での講習会は、2015年5月22日(金)に開催する。③講習会開催前に書籍の販売は行わない旨の報告がなされた。

講習会は、東京以外に、大阪、札幌ならびに福岡での開催を予定しており、その講習会を本部開催にするか支部開催にするかについて議論し、大阪は、前回の示方書講習会と同様、本部開催、札幌、博多は、それぞれ、渡辺幹事、葛西幹事に確認を依頼することになった。

つぎに、次期(予定：2019年版)、複合構造標準示方書の改訂に向けて、当面の課題として、主に、①ずれ止めの研究、②FRP補強の施工に関する研究、③既設構造物の評価の3つが挙げられた。

①に関して、斉藤連絡幹事より、第1種小委員会もしくは示方書小委員会内に部会を設け検討を行うべく、一部、準備を始めているとの説明がなされた。②に関して、西崎幹事より、施工のみの小委員会設立は、現状では難しいと思われるので、設計も含めて、第1種小委員会、受託委員会もしくは示方書小委員会に部会を設けて検討を行った方が良いのではないかと意見が出された。③に関して、奥井副委員長より、平成27年度以降、Load Ratingに関する第2種小委員会の設立を考えているとの説明がなされた。

今後、奥井次期委員長より、中島小委員会委員長および渡辺幹事長に、今後の示方書小委員会の体制について尋ねることになった。

(2) H181 (受託)鋼コンクリート合成床版設計・施工指針作成小委員会 (資料 幹12-9-3)

大久保連絡幹事より、①指針(案)は、第一次原稿ができ上がり、現在、委員への意見照会中である。②小委員会の活動期間延長に関する手続きが終了した旨の報告がなされた。

(3) H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会

牧連絡幹事より、現在、第一期の小委員会活動のまとめを行っており、第二期の小委員会活動は、まだ、開始していない旨の報告がなされた。

(4) H213 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会

滝本幹事長(連絡幹事)より、①第2回目は、現場見学を含めた小委員会を1月末に開催した。②次回は、4月に開催し、より具体的な活動内容について議論を行っていく旨の報告がなされた。

(5) H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会 (資料 幹12-12)

池田幹事長より、委員公募の会告(案)について説明がなされ、応募締切日を5月下旬に修正し、土木学会誌掲載のために、事務局に提出することになった。

10. 部外からの問い合わせ対応 (資料 幹12-10)

池田幹事長より、以前より議論を行っている部外から複合構造委員会に問合せがあった場合の対応手順について、一部、修正を行った旨の報告がなされた。

11. (国際センター)情報グループ担当委員会議 事前アンケート (資料 幹12-11)

池田幹事長より、国際センターからのアンケート(=国際活動について、英文ホームページについて、国際センターとの連携についてなど)への記載内容について、説明がなされた。

最後に、池田幹事長より、「平成25・26年度 土木学会複合構造委員会」終了にあたり、閉会の挨拶がなされた。

以 上
(記録・文責：大山)